

冠動脈MRA検査説明書

お名前：
生年月日： 年 月 日 性別： 男性 ・ 女性

予約日時： 年 月 日（ ） 時 分

検査当日の持ち物

☆MR 検査説明書（この用紙） ☆保健証 ☆診療情報提供書 ☆診察券（お持ちの場合）

- ①（ ）新東京病院 1階 外来受付
 （ ）新東京クリニック 1階 総合受付 } へお越してください。

② 予約時間の30分前までにお越してください。

検査にあたって

- ◎検査時間は、おおよそ60分です。
 - ◎検査中は工事現場のような大きな音がしますが、ご心配なさらないでください。
 - ◎着替えのしやすい服装でお越してください。
 - ◎金属を含んでいる化粧品〔マスカラ・アイシャドー・増毛パウダー・白髪隠しなど〕は、つげずにお越してください。
 - ◎食事および水分摂取の制限はありません。ただし、検査直前に召しあがる場合は、軽食としてください。
 - ◎服用中のお薬がある場合は、普段どおり服用してください。
 - ◎MRI非対応の心臓ペースメーカー、人工内耳、神経刺激装置などの電子機器およびMRI非対応の脳動脈瘤クリップや磁石を使った義眼などを埋め込まれている患者様は検査を受けることができません。
 - ◎条件付きMRI対応心臓ペースメーカーを埋め込まれている患者様は、『心臓内科医の診察→検査予約→検査実施』と当院の規定に従って受けていただく必要があります。必ず予約時に申し出てください。
 - ◎MRI対応の脳動脈瘤クリップ、各種整形外科用インプラント、口腔内インプラントなどは通常問題なく検査を受けられますが、製品によっては画質や身体に影響が出る場合があります。検査時に担当者へお伝えください。
 - ◎閉所恐怖症の方、妊婦あるいは妊娠の可能性のある方、入れ墨をされている方は検査時に担当者へお伝えください。
- 緊急検査や機械トラブルなどで、予約時間より遅れる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

ご不明な点がある場合や、ご都合で検査が受けられない場合は、事前に下記へご連絡ください

検査に関するお問い合わせ：新東京病院《放射線科》

Tel 047-711-8700（内線 7409）

日曜・祝日を除く 月曜～土曜 08:30～17:00

予約の変更：

Tel 047-366-7100

日曜・祝日を除く 月曜～土曜 10:00～12:00、14:00～17:00

冠動脈MRA検査を受けられる方へ (1)

検査について

冠動脈MRAでは、心臓を栄養する「冠動脈」という血管の状態を調べます。一般的に、冠動脈の検査はカテーテルを用いた血管造影やCTで行われることがほとんどですが、近年、装置の進歩により、MRIでも冠動脈の検査が行われるようになってきました。

冠動脈MRAでは、血管造影やCTと比較して、『放射線を使用していないため、被曝がない』『造影剤を使用しない』という利点があります。

しかし一方で、『検査時間が長い』『動きに弱い』という欠点もあります。

<検査に際して>

- ① 検査時間は1時間程度かかります。
- ② 心電図を使用します。
- ③ 撮影中はお腹が動くのを避ける為、大きな呼吸をせず、浅く小さな呼吸をしていただく必要があります。また、その補助として腹部にベルトを強く巻いて検査を行います。
- ④ コイルと呼ばれる、重く、大きな機械を胸の上に載せて検査を行います。
※若干の苦痛を伴う可能性があります。
- ⑤ 禁忌がなければ、検査時にニトログリセリンを舌下投与します。
- ⑥ 検査に際して、ベータ遮断薬を内服していただく場合があります。

冠動脈MRA検査を受けられる方へ (2)

「ベータ遮断薬」、「ニトログリセリン」について

冠動脈MRAでは、心臓を栄養する「冠動脈」という血管の状態を調べます。検査時は心拍数が少なく、冠動脈が広がっている状態の方がきれいな画像が撮れますので、場合によっては「ベータ遮断薬」や「ニトログリセリン」という薬を使用することがあります。

1) ベータ遮断薬とは

高血圧や狭心症などの治療に広く用いられており、自律神経の働きを抑え、心拍数を下げる作用があります。同時に血圧を下げる効果もあります。

2) ベータ遮断薬を使用する利点

冠動脈MRAでは、心臓の動きが早すぎると、画像がぶれてしまい十分な検査を行えない恐れがあります。この薬を内服すると、1時間程度で心拍数が減少し、検査中に緊張しても心拍数が上がらず、きれいなMRA画像を撮ることができるようになります。

3) ベータ遮断薬の投与方法

内服薬（セロケン錠 20mg または 40mg）1錠を検査1時間半程度前に内服していただきます。

4) ベータ遮断薬の副作用

僅かですが、脈が遅くなったり、血圧が下がったり、また、その作用に伴うめまい・吐き気・倦怠感・眠気・頭痛、発疹等の過敏症状、息が苦しくなるなどの呼吸器系の症状等が生じる恐れがあります。ただし、この薬の効果は内服後3時間程度で消失しますので、心配ありません。（このような症状の出やすい気管支喘息、心機能低下、低血圧の方には使用しません。）

5) ニトログリセリン

狭心症の治療薬としても使用されており、血管を広げる作用があります。検査の時も、冠動脈が広がっている状態の方がきれいな画像が撮れるため、検査の5分程度前に舌下投与します。少し脈が速くなり、動悸を感じる場合がありますが、5分程度で落ち着きますので心配ありません。